

中央教育審議会大学分科会大学院部会運営規則（案）

〔 令和 5 年 月 日
中央教育審議会大学分科会
大学院部会決定 〕

中央教育審議会運営規則（令和 5 年 3 月 15 日中央教育審議会決定）第 4 条第 5 項の規定に基づき、大学院部会の会議の運営に関する規則を次のように定める。

（趣旨）

第 1 条 大学院部会（以下「部会」という。）の議事の手続その他部会の運営に関し必要な事項は、中央教育審議会令（平成 12 年政令第 280 号）及び中央教育審議会運営規則に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（書面による議決）

第 2 条 部会長は、やむを得ない理由により会議を開くことができない場合においては、必要な資料及び事案の概要を記載した書面を委員に送付し、その意見を徴し、又は賛否を問い、その結果をもって部会の議決とすることができる。

2 前項の規定により議決を行った場合、部会長は次の会議において報告しなければならない。

（会議の公開）

第 3 条 部会の会議は、次に掲げる場合を除き、公開して行う。

- 一 部会長の選任その他人事に関する事項を議決する場合
- 二 前号に掲げる場合のほか、部会長が、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認める場合その他正当な理由があると認める場合

（会議の傍聴）

第 4 条 部会の会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ、文部科学省高等教育局高等教

育企画課（この条において「事務局」という。）の定める手続により登録を受けなければならない。ただし、部会の会議を傍聴することができる者は、次に掲げるものとし、その人数は、原則として当該各号に掲げる人数とする。

一 放送機関、新聞社、通信社その他の報道機関に所属する者 一社につき一人

二 前号に掲げる者以外の者 原則として受付の順序に従って事務局が許可する人数

2 前項の登録を受けた者（以下この条において「登録傍聴人」という。）は、部会長の許可を受けて、会議を撮影し、録画し、又は録音することができる。

3 会議の撮影、録画又は録音を希望するものは、傍聴登録時に登録することとし、会議の撮影、録画又は録音は、次に掲げるところによるものとする。

一 会議の撮影、録画、録音に際しては、会議の進行の妨げとならないよう、部会長又は事務局の指示に従うものとする。

二 スチルカメラ及びビデオカメラによる撮影等は、事務局の指定する位置から行うものとする。

三 撮影用等照明器具の使用は原則として会議冒頭のみとする。

4 登録傍聴人は、会議の進行を妨げる行為又は他の登録傍聴人の傍聴を妨げる行為をしてはならない。

5 部会長は、登録傍聴人が、第2項の規定による許可を受けず、若しくは第3項の規定による部会長又は事務局の指示に従わずに会議を撮影し、録画し、若しくは録音したとき、又は前項に規定する行為をしたときは、退場を命ずる等適当な措置をとることができる。

（会議資料の公開）

第5条 部会長は、部会の会議において配付した資料を公開しなければならない。ただし、部会長は、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、会議資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

（議事録の公開）

第6条 部会長は、部会の会議の議事録を作成し、これを公開しなければならない。ただし、部会長は、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、議事録の全部又は一部を非

公開とすることができる。

- 2 前項の規定により議事録の全部又は一部を非公開とする場合には、部会長は非公開とした部分について議事要旨を作成し、これを公開するものとする。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、部会の議事の手続その他部会の運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この規則は、部会の決定の日（令和5年 月 日）から施行する。